推進協議会 第5回専門部会 H29.11.6 資料8

障害者スポーツ振興のビジョンと都の主な取組

障害のある人もない人も、だれもがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を実現

2020年に向けた目標 振興の視点 都の主な取組 【競技力向上】 ◆国際舞台で活躍できる東京ゆかりの選手を 発掘·育成 ○東京都が発掘・育成・強化し、2020年 ◆「東京アスリート認定選手」に対して、活動費 競技力向上 東京パラリンピックに出場する選手 を補助 ⇒ 25人 ◆都内での国際公認大会の開催を促進 ◆競技団体の基盤強化を目的とする支援事業 障害者スポ の実施 【場の開拓・人材育成】 ○全ての区市町村で障害者スポーツを ◆特別支援学校の体育施設を活用した 実施 ーツの競技力向 事業の拡大 場の開拓・人材育成 ◆東京都障害者スポーツセンターの改修 ○区市町村のスポーツ推進委員の少なく ◆指導員講習会・セミナー等、支える人材の とも1人は、障がい者スポーツ指導員 育成を強化 資格を取得 【理解促進·普及啓発】 ○障害者等に対する理解と積極的な手 ◆多様なメディアの活用等により、 助けの気運を広めるなど、バリアフリー 理解促進•普及啓発 障害者スポーツの観戦を促進 を推進 ◆障害者スポーツイベント 「チャレスポ!TOKYO」の開催 障害者スポーツの裾野拡大 【支える土台づくり】 ◆障害者スポーツを支援したい企業等と競技団 ○障害者スポーツを安定的・継続的に振 体・選手をつなぐ相談窓口の設置 興していくための仕組み、財政的基盤 ◆体育施設のバリアフリー 化や障害者スポーツ の構築 支える土台づくり 教室等に係る区市町村への補助



